

酒田市男女共同参画推進センター

No.102

ウィズ・レター



目次 ▼LGBT&SOGI 講座の実施報告▼女性に対する暴力をなくす運動週間
▼委託講座の実施報告▼出前講座の実施報告

LGBT&SOGI 講座

酒田東高等学校と

～性の多様性について考える～

共催しました！

講師：東北文教大学短期大学部 総合文化学科 特任准教授 齋藤 由美子 氏

10月1日（金）、男女共同参画社会づくりの一環として、高校生が「LGBT」と「SOGI」について正確な知識を得ることにより、性の多様性への理解を深め、偏見や差別の意識を持つことなく、お互いを尊重する大切さを学ぶことを目的として、東北文教大学短期大学部総合文化学科特任准教授の齋藤由美子さんを講師にお迎えし、「LGBT&SOGI 講座」～性の多様性について考える～を、酒田東高等学校で開催しました。2年生180人が受講しました。

講師の齋藤先生は、「LGBT」と「SOGI」についてワークを交えて難しいことをとともわかりやすく説明し、性的指向や性自認は性的少数者か否かにかかわらず、すべての人がグラデーションの中におり誰もが何らかのあり方をしていると強調しました。また、多様な性について知ることが大事だと説き、人それぞれの「ふつう」があることを受け止め尊重することは、全員にとって過ごしやすいくと呼びかけました。生徒の皆さんは真剣に聴き入り、アンケートからは「みんなが心地よく生活するためには、理解者が増えることが重要だと気づいた。」「一人ひとりが正しい知識を持って社会の雰囲気を変える。」「SDGsの性の平等、世界で向き合うべき。」などと感想があり大変充実した講座となりました。



◆ 齋藤先生の講座資料より

※LGBT：性的少数者（性的マイノリティ）

性的指向

- ・L：Lesbian（レズビアン） 女性の同性愛者
- ・G：Gay（ゲイ） 男性の同性愛者
- ・B：Bisexual（バイセクシュアル） 両性愛者

身体的性と性自認が異なる

- ・T：Transgender（トランスジェンダー）
性同一性障害 ⇒ 性別違和

※その他Q：Questioning（性のあり方がわからない/決められない）

X（男・女どちらでもない）、I（性分化疾患）等々、多様な性のあり方がある。

※SOGI：性的指向と性自認（誰もが持つ性に関する属性）

SOGI：Sexual Orientation（性的指向）と

Gender Identity（性自認）

- ・LGBTは当事者を表す呼称。
- ・しかし、性的指向や性自認は、性的少数者か否かにかかわらず、**すべての人が**グラデーションの中に位置する**当事者である**ことを表す概念。
- ・誰もが持つ性に関する属性。**誰もが何らかのあり方をしている。**



参加者の声（アンケートから）

- ・LGBTについては、ある程度知ってはいましたが、生きづらさを感じている人に対してどう接すればよいのかはよくわかりませんでした。けれど、“受け止めて尊重する”“素直に対応する”これが大事だと知って、他人と話す時となんら変わらないうんだな、と気づきました。
- ・LGBTという言葉は知っていたものの、SOGIという言葉は初めて聞いて、悩んでいる人がたくさんいるのに日本ではまだ認められていないこと、犯罪になっている国があることを知って、今まで知らなかったことにあせりを感じました。LGBTは、障がいや病気ではなく、その人の素敵な個性であることをしっかり意識して差別がなくなればよいと思います。
- ・認識が曖昧なところもありましたが、知識として確固なものになりました。細かくかみ砕かれたお話だったと思います。これを多くの人に話して認識のずれを正すべきだと思いました。

11月12日(金)から25日(木)の“女性に対する暴力をなくす運動”に合わせて「副市長からのメッセージ」が、市HPで発信されました！



『女性・子どもに対する暴力をなくそう』

11月12日から25日までの2週間は、女性に対する暴力をなくす運動期間です。今年度のテーマは、「性暴力を、なくそう」です。望まない性的な行為は性暴力であり、それは性別や年齢にかかわらず起こります。交際相手や配偶者から被害を受けることもありますので、「これは性暴力かな？」と思ったら、一人で悩まず相談窓口（#8891 はやくワンストップ）に相談しましょう。

また11月は児童虐待防止推進月間です。子どもへの体罰は法律で禁止されています。「これは児童虐待かな？」と思ったら、ためらわずに児童相談所（189 いちはやく）、もしくは市役所内の子ども・家庭総合支援室（令和3年4月開設）へ連絡して下さい。子ども・家庭総合支援室では、子育てに悩む保護者や悩みを持つ子どもたちからの相談も受け付けています。

女性（男性）に対する暴力も、児童に対する虐待も、相手を「下」に見る態度や同じ人間として尊重することをしない姿勢から生まれるのだと思います。子どもを含めどのような相手であったとしても、一人の人間として尊重して接することができるか、自分自身があらためて振り返る期間にしたいと思います。

酒田市では、「女性に対する暴力をなくす運動」や「児童虐待防止推進月間」を広めるため、日和山公園の六角灯台をパープル色（女性に対する暴力をなくす）とオレンジ色（児童虐待防止）にライトアップしています。また、市役所本庁舎正面玄関と交流ひろばでは啓発の展示をしています。DV（ドメスティック・バイオレンス）や児童虐待とは何か、どのような場面で起こりやすいのかなど、私自身も学ぶ機会にしています。

酒田市副市長 矢口 明子



11月12日（木）から25日（水）までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、日和山公園六角灯台ライトアップと交流ひろばエントランスホールにおいてパネル展「ドメスティックバイオレンス」を実施しました。今年のテーマは「性暴力をなくそう」です。児童虐待とDVは密接に関係することも多く、児童虐待防止のシンボルでもある「オレンジリボン」と女性に対する暴力根絶のシンボル「パープルリボン」を組み合わせた運動を、本庁舎入口で行いました。

「傷つけた方が悪い。性暴力に言い訳は通らない。」



◆パープルライトアップ
日和山公園六角灯台

◆パネル展「ドメスティックバイオレンス」

◆オレンジリボン&
パープルリボン運動

ウィズ委託講座

実施団体 「庄内ちえりあ」

『大切な人を性暴力から守ろう』

～当事者の「声」から今、自分ができることを考える～ を開催しました！

11月7日（日）、ウィズ登録団体の「庄内ちえりあ」さんが、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、「大切な人を性暴力から守ろう」を開催し、会場受講10名、オンライン受講（上映会のみ）13名の方が参加しました。第1部では、20代から70代まで幅広い年齢層の性暴力当事者が直面した現実を語る舞台パフォーマンスの映像を視聴し、第2部では、ごっと助産院院長の後藤敬子さんがファシリテーターを務め、第1部の感想を共有しながら、自分や周りの人が被害にあった時の対処方法や、性暴力のない社会にするためにできることなどを話し合いました。後藤院長は、「社会全体で支え合い一人でも多くつながれる環境が大事だ。」と呼び掛けました。アンケートからは、「性教育は大切だと思った。」「自分とは違う立場の人との話を伺うことができ大変勉強になった。」「聞くことの大切さ、声を上げるのはとても難しい。」と感想があり、参加者は、身近な問題として正しい理解を広めていく重要性を感じました。

■第1部：上映会「パサレラ～小夜鳴き鳥のこえがする～」

制作：「DAYA」

■第2部：グループトーク



ファシリテーター 後藤 敬子 氏
（ごっと助産院院長・県家庭教育アドバイザー）



◆第1部「上映会」の様子
（オンラインの方も参加しました）



◆第2部「グループトーク」意見交換する会場参加者

参加者の声（アンケートから）

- ・初めから大きなインパクトを受けました。一つ一つの語りが胸に迫り、それでいて実際に周囲でも怒っていることであり、また、それをめぐる人々の反応や社会状況も現実そのものでした。表現方法が多彩で表現そのものが見事でした。「私自身の体は私自身のもの」というフレーズは聞いていますが、それが迫るような表現でした。一人ひとりが歩く姿は、自分の足で自分の道を力強く歩くことを象徴していて勇気づけられました。（オンライン参加者）
- ・自分とは違う立場の人との話を聞くことができ、大変勉強になりました。（会場参加者）
- ・性教育は大切だと思った。（会場参加者）

出前講座実施中 「男女共に暮らしやすい社会とは」

～簡単なゲームで楽しく一緒に考えよう～



11/24(水)10:00～11:00 団体名：駅東睦会（参加者 21 名）会場：駅東自治会館

ゲームや講話を通して「男女共に暮らしやすい社会」について楽しく一緒に考える講座を開催しました。始めに「健幸かるた」で健康の秘訣を学び、改めて健康が一番大事であることを実感し、「女らしさ」「男らしさ」のゲームでは、皆さんの「ちがい」を認め合い、それぞれの良さを活かし、お互いを尊重する大切さを学びました。また、主体的に家事に関わることが、生涯にわたって自立した生活を維持することにとっても役立つこと、そうした生活と両立して地域の行事に参加し、誰もがいきいきと自分らしく生きることができる社会が、男女共に暮らしやすい社会であることに気づくきっかけとなりました。



参加者の声（アンケートから）

- 当たり前のこととして生きてきた生活を、今後、見直したいと思いました。（70代女性）
- 80代ですので、当てはまるものが少ないようです。食事は毎日作っています。（80代男性）
- 男女共、お互いを大切に思い合うことが大切だと思います。それには互いの良さを発見すること。（80代女性）
- 難しい内容だと思ったが、わかりやすい説明があり大変良かった。これからは意識して努力していきたい。（70代男性）

酒田市地域創生部 地域共生課 男女共同参画係
男女共同参画推進センター **ウィズ**

開館 月～土 : 9:00 ～ 22:00

日・祝 : 9:00 ～ 17:00

相談 月～金 : 9:00 ～ 16:00（祝日除く）

〒998-0044 酒田市中町三丁目 4-5
交流ひろば内

Tel : 0 2 3 4 (2 6) 5 6 1 6

Fax : 0 2 3 4 (2 6) 5 6 1 7

E-mail : with@city.sakata.lg.jp

ウィズのHPに
アクセスできます

